

平成 30 年度横須賀市一般会計予算に対する附帯決議

はつらつシニアパスは、平成21年度に事業費全額を国の交付金で賄った緊急経済対策として始めた事業であるが、その後、平成24年4月に廃止した福祉バス「ルシア号」にかわる福祉施策として、高齢者の社会参加の促進を目的に事業を行ってきたものである。

そのはつらつシニアパスについて、対象年齢の引き上げとともに自己負担を増額する平成30年度一般会計予算案が可決された。

その対象年齢の引き上げ理由として、65歳から69歳までの利用者のうち、約半数が通勤及び仕事のために利用しており、高齢者の外出支援という目的と合致しないことが挙げられている。

しかしながら、その約半数の利用者は、本来の目的に合致した利用を行っている年金生活者と思われ、今回の変更により一定額の負担のみで外出できる手段を失うこととなる。

このことによる影響は、特に公共交通機関がバスに限られている地域の住民にとっては、顕著なものと考えられる。

横須賀再興プラン実施にあたり、事務事業の見直しを行うことは、十分理解するところであるが、一方で、高齢化の進行している本市にとって高齢者の社会参加を促進する事業については、柔軟な対応も必要であると考える。

よって、市におかれては、当該事業の本来の目的である高齢者の外出支援を損ねることのないよう、対象年齢の変更等の激変緩和措置を検討されるよう要望する。

(提出年月日) 平成 30 年 3 月 27 日

(議決年月日) 平成 30 年 3 月 27 日

(議決結果) 可決 (賛成多数)